

令和4年度 第2回 蕨市介護保険運営協議会 議事録

日時	令和5年3月9日（木） 午後1時30分～2時30分
場所	蕨市立中央公民館 1階 講座会議室
出席委員（敬称略）	
会長	濱口 豊太 佐原 勝治 西牧 修也 服部 浩子 鈴木 陽子 土肥 仁美 大須賀 美雪 庄 喬 熊谷 修作
事務局:健康福祉部 介護保険室	
部長	根津 賢治 室長 加藤 晶大 係長 村山 雄輝
係長	長谷川 咲子 係長 小柴 晴香 主事 秋山 晃樹
傍聴者 なし	
<p>会議次第</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 開 会 2. 会長あいさつ 3. 議 題 <ul style="list-style-type: none"> ・介護保険特別会計予算（令和4年度補正・令和5年度当初）について 4. 閉 会 	
<p>配布資料</p> <ul style="list-style-type: none"> 「資料1-1」介護保険特別会計予算の概要（対前年度比較） 「資料1-2」介護保険特別会計予算の概要（対前年度比較） 「資料2」令和4年度3月補正予算・令和5年度当初予算 「資料3」地域分析・検討結果記入シート 「資料4」第8期計画における介護保険給付の見込み 	

議事録

1. 開 会	
2. 会長あいさつ	<p>皆さまこんにちは。濱口でございます。</p> <p>令和5年が始まりまして、コロナの感染状況に関しては、今は少し小康状態が続いております。だんだんと世間ではマスクを外したり、5月にはコロナの感染症法上の位置付けが、インフルエンザと同等である5類への移行が進められたりしておりますが、まだ以前と同じように、安全に生活していくのは難しい状況です。</p> <p>本日は令和4年度補正・令和5年度当初予算について委員の皆さまと協議させていただきます。皆さまの知恵をお借りして予算の使われ方、制度のあり方について考えていければと思います。</p>
3. 議題 介護保険特別会計 予算について	<p>・介護保険特別会計予算(令和4年度補正・令和5年度当初)について 資料1~4により事務局から説明の後、質疑応答</p>
委 員	<p>資料1-2について、地域支援事業費のうち一般介護予防事業費が令和5年度において前年と比べて減額となっておりますが、何が原因でしょうか。</p>
事務局	<p>介護保険室内での職員の人件費が減額となったためです。</p>
会 長	<p>来年度は退職等で介護保険室が人員減となるのでしょうか。</p>
事務局	<p>人員体制として変化があるわけではございません。</p> <p>減額分ですが、保健師の人件費となっております。前年度までは在籍しておりましたが、今年度に関しては保健師がおらず、非常勤職員がその人員を補っております。</p> <p>当初予算においては、保健師の人件費を予算として計上するべきなのですが、市としては予算策定時に、その人員がいない場合は計上しない方針を取っております。</p> <p>来年度に関しては、保健師が1名復帰予定となっておりますので、その場合は復帰後に補正を行う流れになるかと思っております。</p>
委 員	<p>コロナの発生から約3年が過ぎましたが、その間、通所介護や通所リハビリテーション、ショートステイなどの集団サービスの利用控えのようなものはあったのでしょうか。逆に訪問介護や訪問看護、訪問入浴などの訪問サービスの実績が伸びたのかお伺いできればと思います。</p>
事務局	<p>介護保険給付費全体の金額としましては、令和元年度が4,524,563,269円、令和2年度が4,569,224,424円、令和3年度が4,680,357,171円ということで年々金額としては上がっております。</p> <p>コロナの影響ですと、令和2年度が最も影響を受けていると思われれます。</p>

	<p>伸び率的には前年度比で、令和元年度は 3.41%、令和 3 年度は 2.43%、令和 2 年度は 0.99%ということで介護給付費の伸びが少なかったというのが全体の印象です。</p> <p>通所介護で見ますと、令和元年度が 8,802 件で 630,512,513 円、令和 2 年度が 8,302 件で、616,693,123 円、令和 3 年度が 8,861 件で 664,096,723 円ということになっておりまして、件数・金額ともに令和 2 年度が前年度より減となっております。いろいろと要因は考えられますが、やはりコロナ禍における通所介護の利用控えがあったのではないかと感じております。</p> <p>短期入所生活介護につきましては、令和元年度が 1,660 件で 137,752,845 円、令和 2 年度が 1,355 件で、140,155,652 円、令和 3 年度が 1,357 件で 135,540,452 円ということで、件数としては令和元年度より令和 2 年度が低くなっておりますが、金額は逆に高くなっております。これはコロナ禍において、特例で加算を算定できるようになったことが要因の一つとしてあります。</p> <p>訪問介護につきましては、令和元年度が 6,334 件で 313,276,302 円、令和 2 年度が 6,235 件で、322,849,028 円、令和 3 年度が 6,639 件で 358,459,104 円となっております。こちらも件数としては令和 2 年度が低くなっており、金額は逆に高くなっております。件数は純粋な利用回数ではなく、月に 1 件とカウントされますので、これは推測ですが、コロナ禍の影響で、通所を控えて訪問介護でサービスを受ける回数が増えた方が多くなり、金額が伸びているのかなと思われま</p>
会 長	<p>最近物価が上昇しておりますが、介護報酬のような金額が決まっているのものは報酬改定等がない限り定額かと思いますが、原材料がある住宅改修や福祉用具購入は物価高が影響するのでしょうか。それを考え、予算取りもしているのでしょうか。</p>
事務局	<p>住宅改修、福祉用具購入においては物価高の影響を特段考えておりません。</p> <p>物価高ではありませんが、来年度予算ですと昨年 10 月から開始された介護職の賃上げを目的としたベースアップ加算は加味した金額で考えております。</p>
委 員	<p>資料 2 1. (2)②の夜間対応型訪問介護が増加しておりますが、新たに施設ができるなど、何か理由があるのでしょうか。</p>
事務局	<p>今までは科目設定だけで、市内での利用はありませんでしたが、住所地特例対象者が市外で利用しはじめたことが要因となります。</p>
会 長	<p>資料 3 の調整済み認定率とは通常の認定率と何が違いますか。</p>
事務局	<p>市町村によって住民の年齢構成が違うため、それを勘案して国が算出している認定率となります。</p>

会 長	資料2に介護予防サービスの訪問入浴介護がありますが、予防のための入浴介護ということで、あまり想定されないかと思いますが、これは過去利用実績がありますか。
委 員	私が担当した方では、過去に1人だけ利用した方がいらっしゃいました。
4. 閉 会	